

ストラスブールで学んだあるいは獲得した3つのこと

理学部2年 木村陸

私は三月末に、ストラスブール大学での二週間のフランス語研修に参加しました。とても充実した研修で多くのことを学び、獲得しましたが、ここでは大きく分けて3つのことを書きたいと思います。

まず一つ目は、今回の研修のメインである、フランス語の語学力です。研修期間中は合計で28時間のフランス語の授業があり、先生はフランス人の方で、教室内は辞書を含めフランス語以外禁止でした。かなり厳しい環境でしたが、その分鍛えられました。

なかでも最も向上したと自分で思うのは、実戦会話の能力、すなわちリスニング力とスピーキング力です。フランス語しか使用できない状況下では、たとえすべては理解できなくても、必死に先生の言っていることを聞いて少しでも情報を手に入れるしかありません。話すときも、言いたいことをすべての確に言い表せないもどかしさを感じながらも自分の知ってる表現に置き換えたり、ジェスチャーを用いたりして伝えるしかありません。普段日本語で話しているときよりも何倍も集中して何倍も速く頭を回転させないといけないのでかなりストレスがかかって苦しかったです。同時に自分の能力が上がっている最中なんだと考えるととても楽しくもありました。しばらくするとそうした状況にも少し慣れてきたので、積極的に街中の人に話しかけたり、テレビでニュースを見るなど、フランス語で話す・聞く機会をできるだけ増やすようにしていました。そのおかげで、(完璧というには程遠いレベルではありますが)ある程度人の言っていることを理解し、自分の伝えたいことを表現できるようになりました。

ほかにも、教科書には載っていないような、現地の人たちが使っている正式ではない崩れた表現を多く学べたのも大きな収穫でした。例えば、Yo!やBisou!などの親しい仲間同士のあいさつの表現や、Ce n'est pas ~をC'est pas ~と省略してしまう表現などです。同じ意味の挨拶でも相手との関係に応じて実に様々な表現があり、驚きました。

以上のように、日本で文法や単語の勉強をやっていた時には学べなかった部分のフランス語をたくさん学ぶことができました。それと同時に、語彙力が少ないことを痛感するなど自分の足りない部分にも気づくことができ、語学勉強という観点からみてとても有意義な時間を過ごすことができました。

次に、ストラスブールでは異文化の中での様々な貴重な経験をすることができました。今回の研修は観光目的の数日間の旅行とは異なり、約2週間同じ場所に滞在し、朝以外の食事は自分たちで用意しなければなりません。このようにある程度自分たちで「生活」しなければいけない環境だったので、フランスと日本の文化の相違点をよりはっきりと感ずることができました。

例えば、スーパーマーケットなどの店の閉店時間の早さです。お財布的に毎日レストランに行くわけにはいかないので、食費を節約するためにスーパーで安いものを探しましたが、ほとんどの店は午後6時~7時には閉まってしまいます。しかし、午後の授業が終わって少し観光でもしているとそれくらいの時間になってしまいます。日本のようにコンビニというものは存在しないので、しばしば夕食が用意できず、パンのみだったり、抜きにしたりしていました。

また、フランスで出会った人々のフレンドリーさにも驚きました。自由行動の日に乗ったシャトルバスの運転手は、運転している間ずっと、後ろに座っている私にフランス語と英語で話しかけてくれましたし、コルマルからの帰りの列車で出会ったトルコ人の人も日本人の私たちを含めいろいろな人に話しかけていました。街中で話しかけたフランス人も丁寧に私の質問に答えてくれるだけでなく、どこから来たかなど私について興味をもって話してくれることが多かったです。日本ではほとんどの場合見知らぬ人とすぐに仲良くなったり必要最低限のレベルを超えた会話はしないように思うので、外国の人々のコミュニケーション能力の高さには驚き、少しうらやましいと感じました。

このように、日本にはなかなか体験できないことを研修中の二週間で経験することができました。

第三に、今回の研修では多くの学生と交流することができました。この研修に参加する前は、一緒に参加する名古屋大学の学生も知らない人ばかりでしたが、共に助け合っフランス語を学ぶ中で仲を深めていくことができました。皆個性的で、おもしろくて、優秀な人ばかりだったので、お互いに刺激を与えながらレベルを上げていける良い関係だったと思います。

また、滞在中はストラスブール大で日本語を学ぶ学生とも仲良くなることができました。プログラム中では三回ほど交流の機会があり、さらにそれとは別に一緒に遊びに行ったり食事をしたりしました。帰国後も LINE でメッセージのやり取りをしたりしています。彼らは本当に日本語が上手で、今度会う時までには彼らの日本語のレベルくらいフランス語を上達させることが自分の当面の目標となりました。

以上のように、この上ないくらい濃密な二週間で、様々なことを学び、得ることができました。今回の研修をサポートしていただいた名大の担当者の方々やストラスブールの皆さんには本当に感謝しています。ありがとうございました。

この貴重な経験を生かせるよう、残りの学生生活も努力を怠らないようにしたいです。